

道東地区教会連合会機関誌



道東 55 こ う ほ う 光 報



'DÔTÔKÔHÔ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.55 Oct.,2025

巻頭言 老いの信心とおかげ

釧路教会在籍 池亀徳和

私は今年6月をもちまして、84歳の人生をいただいております。日々の朝晩のご祈念は、天地金乃神様の整えて下さった環境の中で、命をいただきお育て戴いて生かされ生きていくこと。教祖生神金光大神様の御取次をいただいて、私達の日常生活の中で起きてくる様々の事象から救い助けられ今日の生活があること。ご先祖様があってこそ私たちがこの世に生まれ生活が出来ること。教会があるからこそ、教会長のお取次（ご指導）をいただいて、信心の稽古をさせて頂き神人あいよかけよの生活が出来ること。そして、人間、一人で生きていくことが

難しい中で、人間社会の協和があつて生活できていることへのお礼、お詫び、お願いのご祈念をさせて頂いております。しかし、私の信心を振り返ってみると、神様の願いに沿った信心ができておらず、只々反省し、神様にお詫びし、少しでも、ご神願成就のお役に立たせて頂けるよう、心を新たにして信心生活に取り組んでまいりる決意をさせて頂いたきながら、亡き父が口癖のように言っております。「死ぬまで修行じゃ。」の心境を思い出しています。

さてここで、私の体力気力の近況と近日頂いたおかげ

げ話を述べさせて頂きます。私も最近、自分で使っていたものをどこに置いたか解らなくなったり、外出をするときも携帯電話を忘れたら、人の名前を思い出せなかったりなど、記憶力が落ちていきます。認知症かとも思ったりしています。私の言動が不快感を与え、ご迷惑をかける時も多々あるかと思ひます。ご理解いただきまして、お聞き流しただくか、ご指導いただければ幸いと思ひます。

教会の奥城周辺と教会周辺の草刈のお手伝いを年間4〜5回行っていました。今年に入り、教会の周りの土手の草刈を行っている時、

足首と膝関節に何となく重苦しさや痛みが感じられるようになってきました。そのうち回復するだろうと続けておりますと、踏ん張りがきかなくなり、草刈り機を持続たまま、ずるずると塀のあたる下まで滑り落ち、それでも続けていますと、土手の中ごろから草刈り機と共に転げ落ちてしまいました。幸い怪我もなかったもので、休憩を入れてから、再度残った部分の草刈を行いました。神様のおかげをいただいて、怪我もなく草刈のお手伝いが出来た事へ、お礼と感謝を申し上げました。

以前、ある教会のご大祭に参拝したとき、教会長先生が「今日のご大祭が盛会裏に滞りなく終了できましたことは、神様と共にさせていただけのおかげの賜物であります。」と挨拶されたのを聞いて、私もそれ以来、家庭での家事炊事等を行う時、また教会の行事等や草刈等のお手伝いをするときは、神様と共にさせて頂く事をお願いしてから、作業に取り組むようにして参りました。この度の草刈りも神様が私に付きまとい手をお貸して下さったからこそ、怪我もせず、無事草刈のお手伝いをさせて頂く事が出来たのだと思うと共に、あらためて心からお礼と感謝を申し上げます。

○ 釧路市の霊園がある紫雲台という高台に信奉者の御

釧路教会信奉者の霊様を安置する奥城があります。潮風をまともに受けるため、屋根が腐食して、強風雨にあうと雨降りや屋根が吹き飛ばされる恐れがあるので、三年に1回はペンキ塗りを行います。今年がその年にあたり、信奉者三人でペンキ塗りを始めました。ペンキ塗りで一番気をつけなければならぬのは、塗ったペンキの上に足をのせると滑って転落する恐れがあることです。作業前に、始めて参加される方はじめみんなに、「塗ったペンキの上には足は載せないで下さい」と確認してから塗り始めました。ところが塗り終わる頃、初めて手伝ってくださった方が、無意識に塗ったペンキの上に足を乗せたため転倒し、危うく地上に落下しそうなったのです。しか

し、無事何事もなく一同胸をなで下ろし、神様のおかげをいただいて、無事作業を終える事が出来ました事を、心から神様にお礼と感謝を申し上げて帰路に着かせていただきました。

私は帰路の車中でも、帰宅してから、神様のお働きに心からお礼と感謝を申し上げ、信心していたからこそその御かげであることを実感しました。

教会掲示板

教会からあれこれ

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四―四一―三五一
FAX 〇一五四―四一―一三六一

教会に向かって左側に、

Aさんの家がある。Aさんの家の後ろに、Aさんが建てたマンションがあった。過日、Aさんが来て、「マンションを解体することになり、震動などうるさくなると思うので、よろしく」との挨拶を頂いていた。

「ああ、そうですか」とは言ったものの、鉄骨三階建て、一階部分は物置、二階三階は外階段で、二階三階とも2DK部屋が三つもある大きな建物であった。教会がガタガタいい出したのも間もなくのことだった。教会も築40年になるので、

どこか壊れないかと、心配することもあったが、何とか進んでいた。

解体工事は、道路の関係で教会に向かって反対側から徐々に進んでいた。いよいよ、教会側になった時、マンションの外の非常階段（滑り台）が、教会の方に倒れてきた。何の被害もないのだが、Aさんの土地と教会の境に朽ちた塀があり、その塀が壊されたといえば、壊されました。たまたま玄関の外にいたものですから、工事関係者が飛んできて、「直しますから」と言ってくれました。

Aさんも、私が外にいるのを見付けて、すぐにトンで来て、「すいません」と言ってくれましたが、「貴方が謝ることはありませんよ」と言ったら、キョトンとしていました。「わざとやったのはい

し、業者さんが直しますと言ってくれましたから、大丈夫ですよ」と言うのと、「直すと言っていましたかと」安心したようでした。

その塀自体は、立て杭は枕木で、横板は教会にあった古材を釘付けしたもので、もう目も当てられないことになっていましたので、どうしようかと思っていました。直してくださった塀は、立派なもので、立て杭は業者さんが持っていた柱でしたが、横板は新しい木材を使っていました。

結局、何を言いたいのかというと、マンション最後の解体部分が、教会の方に倒れてきたが、人災もなく、教会とAさんとの境の堀を壊しました。修理と言うよりは、新しく造ってくださいまして、教会としては、「朽ちた塀を

壊してくれて有難う。と言う気持ちだったので、壊してくれて、立派な塀を建ててくれて有難う。」と言ったら笑っていました。Aさん家族もホッとされたようでした。

こんど教会へのお参りの時には、教会の玄関に入る前に、ちょっと左を見てください。マンションがあったところは更地になり、向こうの道路と家々が見えていますよ。その道路の右側の方に、「挽歌」で有名な作家の原田康子さんの家もありました。私が釧路に赴任した時は、まだその家もあったのですが、その後その家と言うか、土地というか、買われた人がいて、家も新しくなりました。と言っても教会でも昭和60年に建て、40年にもなりますから、教

会より早く建てていましたので、築40～50年位になっていると思います。その家ならまだありますよ。

(江郷)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二―四三―三九五四
FAX 〇一五二―四三―三九五四

日々教主金光様の御祈念と御取次を頂いて、私たち信奉者おかげを蒙っていること誠に有り難いこととお礼を申し上げます。

今年も7月27日チャリティーバザーを開催しました。多くの人達から洋服、着物、雑貨、瀬戸物、コップ類、食器類、タオルなどたくさん寄付していただきました。焼き肉も同時開催、ジギスカン、ホタテ、ツブ、おにぎり、大根など安い価格

で販売、町内の方々友人知人が多く参加していただきました。数日前からバザー品を整え、値札を付け準備を進めてきました。

当日は朝から雨模様でカッパを着てテント張り、椅子、テーブルなど準備を整えました。午前11時の開催時間が迫りましたが、まだ雨、ご祈念後、バザーの開催時間は予定どおり午前11時、焼き肉は開催時間を正午と繰り下げました。信奉者のご祈念のとおり天気のお繰り合わせを頂き、正午には雨も上がり大勢の参加者で大盛況で楽しく終了しました。

この度も知人友人等にチラシをくばりそれぞれ信奉者のご尽力お世話を頂きてのバザーでした。改めてお礼を申し上げます。バザーの収益金は本部の平和活動セン

ター、災害救済金等に寄付をさせて頂きます。

昨年大型の立ちテーブルを6枚、今年椅子を10脚を購入しました。有り難いことです。

これまで信奉者のお祈り添え、お世話を頂いての教会活動、お礼を申し上げます。一日おかげを蒙ってまいりたいと祈念しています。

(田中)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―二二―三八三五
FAX 〇一五五―二二―三八三五

今年の夏も猛暑が続きました。

例年ですと北海道の暑さもお盆までとか、暑さ寒さも彼岸までといわれていましたが、本州より暑い日があったり、なかなか涼しくありませんでした。また7月

24日には38・8と言う全国放送されるぐらい酷暑に近い日もありました。今後も温暖化が進んでいくようですので、この度8月の末夏の終わりにポータブルクーラーを2台購入し、広前と居間に設置、さらに、玄関が西日が入りますので、玄関には窓ガラスフィルム目隠しマジックミラーUVカットを貼り付けました。約80%の太陽熱反射吸収するということです。あとは従来の多くの扇風機を使いようにしました。暑さも少しではありますが和らいだように思います。

9月21日、北海道で初めて線状降水帯が発生し記録的な大雨が降り、十勝地方、釧路地方に被害をもたらしました。

異常気象は、十勝の農産

物にも被害を及ぼしました。猛暑、干ばつが続く結果、芋は縮小、しかし、大雨が降ると成長しようと実の柔らかい処から成長しますの

で、ひょうたんのようないびつな芋ができあがったようです。

畑の物、海の物も温暖化によつて変わつてきています。

温暖化は人間の営み、すなわち、

大気中の二酸化炭素やメタン、フロンなどの温室効果ガスが増え過ぎることで引き起こされます。

天地は語る「天と地の間に人間がいる。天は父、地は母である。人間、また草木など、みな天の恵みを受けて、地上に生きているのである」

天地金乃神様は常に再生し、そして育ててくださっ

ています。お礼を申し上げながら、温暖化が減少するように私たちができることをさせて頂きたいと祈念しています。(田中)

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七―二四―七四七四
FAX 〇一五七―二四―七四七四

北見教会を「アスパラ神社」と言う人がいると最近知りました。言われてみれば、確かに教会の庭にはアスパラがあちらこちらに生えていて、夏頃にはモサモサと大きく成長するので、まるでアスパラ畑のように見えるのかもかもしれません。そんなつもりはなかったのですが、放置していたらいつの間にか増えていました。ただ、ほとんどが食用には好まれない細さなので抜いてしまえばいい

いのですが、なんとなくもったいなくて・・・。

○ 教会前の歩道に、土だけが

残されている四角い場所が等間隔にあるのですが、以前木を植えていたと思われるそこは雑草が生えるだけの味気ない所でした。何か花でも植えたらと考えていました。ある時からそこには秋桜が植えられて、毎年初秋にはかわいらしい花を咲かせて通る人の目を和ませるようになりました。

誰が植えているのかわからなかったのですが、先日その花を刈り取っている人がいたのでお礼を言おうと声を掛けましたら、好きでやっているだけなのでと楽しげに話されました。すべての場所に毎年種をまいて花が終ればその始末をする、好き

だからだけではなかなか出来ないことだと思います。

○ また、教会の草取りには

毎年苦労していましたが、生い茂る雑草を見かねたのか、頼んだわけでもないのに近所に住む親しい方が時々来て綺麗に取って下さいます。この方も気が向いたときに来るだけで気晴らしになるからと話されますが、実祭はかなりの手間と体力がいるはずだと思います。

○

お二人の無償の行為は、教祖様が諭された一生が修行中の行という「おこない」について、改めて深く考える機会になりました。何気ない日常の行いを見つめ直してみましよう。自分にも身の回りの出来事にも必ず新たな視点が生まれるはず

です。

それにしても、アスパラ神社と云われることをどう受け止めればいいのか？まずはアスパラの始末をきちんと「おこなう」ことが必要のようですね。

(矢代)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地一一
TEL 〇一五五七一一三三三三
FAX 〇一五五七一四二二三

教会がある池田町の秋の名物は「ワイン祭り」。今年も大勢の観光客盛り上がったそう。では十勝教会の秋の風物詩と言えは「カメムシ」！何を言っているんだとお思いかも知れませんが、カメムシです。もつと言えはクサギカメムシ。これが毎年今時期（10月ぐらい）に大発生するのです。

正確に言えば、教会の近所の畑や林で発生したカメムシが、気温が下がるとともに越冬のため大挙して教会に飛来してくるんだけど。

漢字で書くと臭木亀虫。元々の意味はクサギという木によく見つかるからなんです。クサギという音の如く、ものすごく臭い。あのWikipedia（辞典みたいなもの）だと思ってください）では「最も臭いの強い種の一つ」と説明されるぐらい、数あるカメムシ界でも最も臭いといわれているカメムシです。そのカメムシが外壁いっぱい蠢いている画を想像してみてください…。当然、屋内に侵入する輩も多数。ガムテープ捕獲や缶スプレー殺虫剤では足りず、農薬用のスプレーは必須！毎年、教会では虫たちとの戦いが繰り広

げられているのです。

さあ、そして今年もそのシーズンが到来。が、今年は様子が少し違います。カメムシはやって来る。でも種類が違う。やって来るのはクサギカメムシではなくマダラナガカメムシ。「結局カメムシじゃない」と言われそうですが、同じカメムシでもこれが大違い！なんとカメムシなのにぜんぜん臭くない（といってもクサギカメムシに比べればですけど）。クサギの時は叩くとおいが出るので駆除するのも面倒だったのに、今年は今余裕でハエ叩き（ムシさんごめんさい）。

しかし、なんでクサギカメムシが来なくなったの？やっぱり夏の猛暑のせいなんでしょうか？温暖化で発生時期がずれたのか？ひよっとしたら上手にある

農家さんが廃業して豆畑がなくなっただけか？温暖化は人間の便利さを追求したなかで起きたことだけど、ほんの少し気温が高くなっただけで「繊細な生態系」は影響を受けちゃう。農家さんの廃業は後継者不足の問題で、農林水産業を取り巻く環境悪化って、我々の「食べる」あるいは「食べられる」ってことへの感心の低さが原因だと思う。臭いのはイヤだけど、におわないけどもつとクサイものから目を背けていては、もつと大変なことになるよっていうメッセージなのかもしれない。

(玉置)

行事報告

▼令和7年度 道東地区教会連合会交流会

- ・日時 令和7年7月5日（土） 午後5時
- ・会場 釧路教会
- ・参加者 14名
- ・内容 懇親会

▼令和7年度道東地区教会連合会研修会

- ・日時 令和7年7月6日（日） 午前9時30分
- ・会場 釧路教会
- ・参加者 20名
- ・内容 「拝詞」をもとに金光教を考える

行事予定

▼令和7年度 役員会

- ・日時 令和7年11月23日（日） 午前10時30分
- ・会場 北見教会
- ・内容 令和7年度行事、会計について
令和8年度行事計画案、予算案について

▼会長選挙

- ・任期満了に伴う会長選挙を行います。
- ・日時 令和7年11月23日（日） 午前10時30分
- ・会場 北見教会（役員会に併せて行います）

※役員会、会長選挙についてはあらためてご案内をいたします。

道東地区秋の大祭日程

釧路教会	10月26日（日）	午前11時
北見教会	11月 3日（月祝）	午前11時
十勝教会	11月16日（日）	午前11時
帯広教会	11月 9日（日）	午前11時
網走教会	10月19日（日）	午前11時



道東地区教会連合会ホームページ（PC用）
<https://konkotokachi.stars.ne.jp/kyokai/doto/>

ご意見をお寄せください
konkodoto@gmail.com